

# 「ひろしま給食 100 万食プロジェクト」の実施結果について

平成 27 年 3 月 13 日  
豊かな心育成課

## 1 実施結果

### (1) 食数

	平成 25 年度	平成 26 年度	食数は目標を達成。
学校給食	566, 825	854, 646	「家庭等」にはセブン-イレブンの惣菜 (36, 637 食) , 福屋, サービスエリア, 県庁食堂等のレストランのメニュー提供, フルサ, フジグランなどスーパー等での試食販売を含む。
家庭等	447, 817	372, 459	
合計	1, 014, 642	1, 227, 105	

※平成 27 年 3 月 9 日現在

### (2) 広報及び報道

本プロジェクトをより広く周知するため、「広島の身近な食材をとり入れた、家庭でも簡単にできる料理」を条件にレシピを募集したところ、1,324 作品の応募があり、栄養教諭・企業等の助言・協力を得て、統一メニュー“ひろしまドレみそ♪レモン”ほか4 作品を「ひろしま給食」に決定した。

また、ポスター・チラシを作成し、県内のスーパーマーケット、コンビニ等 1,327 店舗に配付するとともに、県教委HPや広報紙（くりっぷ）などによる広報を展開し、各種マスコミ等で報道された。（新聞 19 回、テレビ・ラジオ 10 回、ミニコミ誌等 8 回）

## 2 取組の概要

### (1) 学校の取組

栄養教諭等を中心に、様々な取組を展開した。

- ・親子料理教室や給食試食会等の開催
- ・「ひろしま給食」と関連させ、郷土料理や地場産物紹介の校内掲示
- ・給食日より等を通じたレシピ紹介や朝食レシピ集の作成・配付
- ・つくレポ(料理を作った感想やエピソード)募集や料理コンテスト開催

「ぶちうま！吉和定食 1000 食プロジェクト」(尾道市立吉和小学校)

地域の特産物を使った料理レシピを家庭から募集し、児童と地域住民らで構成する委員会で4つの「吉和定食」メニューを決定した。10月下旬からの1ヶ月間で1000食を目標に「家族で作ろう！地域で食べよう！」をテーマに取組を展開した。地域の特産物をみんなで味わうことを通して、児童のふるさとに対する愛着や誇りを育てている。



### (2) 市町の取組 (別紙 1)

統一メニュー“ひろしまドレみそ♪レモン”に合わせて、地元の食材や郷土料理等を活かした主菜メニューを決定するとともに、年間を通して、昨年度のメニューも含め、バラエティー豊かな「ひろしま給食」を提供した。

さらに、市町の広報誌で本プロジェクトを取り上げるとともに、食育フェスタや健康福祉まつりなどの各種イベントで「ひろしま給食」を紹介した。

「廿日市『ひろしま給食』新聞」の発刊 (廿日市市)

「ひろしま給食」に食材を提供した地域の生産者へインタビューを行い、新聞にまとめて発刊し、全児童生徒に配付することで、「ひろしま給食」をきっかけに、親子で調理したり地元の生産物について話題にしたり、子供たちの食への関心を高める取組を行った。

### (3) 企業等の取組（別紙2）

- 栄養教諭配置校と近隣スーパー等との連携が進み、学校を取組を広く地域へ発信した。
  - ・ポスター掲示・チラシ配布，食数把握のためのシール台紙を店内に設置
  - ・店舗内のパネルで本プロジェクトを掲示

- 県内の各種企業や団体との連携が進んだ。
  - ・10 企業等がメニュー開発に参画しアドバイスを行うとともに、試食用の食材や表彰式における特別賞を提供
  - ・広告掲載（そごう・西武，ニチエー，スパーク，フジグラン広島等）
  - ・店舗での試食提供（フジグラン，フレスタ等）
  - ・「ひろしま給食」の商品化（セブン-イレブン等）
  - ・レストランでのメニュー提供（福屋，サービスエリア等）
  - ・出前講座の開催（アンデルセン，司厨士協会，調理技能士会等）



東広島市立高美が丘小学校での出前講座の様子

環境県民局文化芸術課が展開している「食の魅力向上事業」と連携するなど、県内の小中学校 17 校に食のプロを派遣した。関係団体から派遣された日本料理，西洋料理のシェフが，子供たちに料理の楽しさや素晴らしさを伝えた。

### 3 成果と課題等

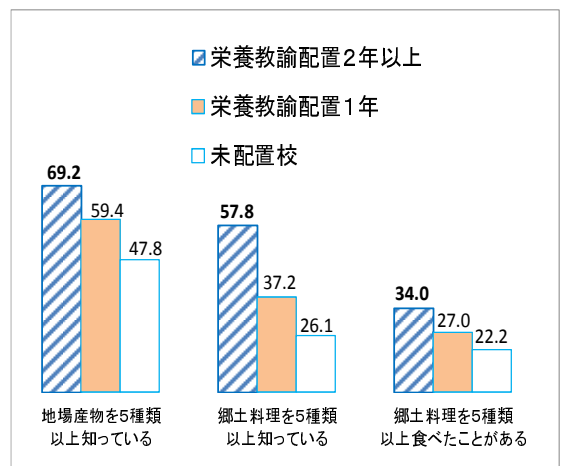
- 学校・家庭・地域が一体となった食育の推進
  - 企業等との連携数が増加するとともに，市町による主体的な取組が広がった。
  - 一方，広島県 P T A 連合会や広島市 P T A 協議会の広報誌に掲載されるなど，プロジェクト自体は広く認知されるようになってきているが，家庭等における食数が減少したことから，保護者を対象として，さらに家庭へ直接的に働きかける工夫が必要と考えられる。

- 地産地消の推進，郷土料理の継承

「地場産物を 5 種類以上知っている」等の項目に関して，栄養教諭配置校では「ひろしま給食」を活用して，地域の特産物や郷土料理と関連づけることで，高い指導効果が見られた。

一方，依然として未配置校との格差が大きく，全県的な指導効果の波及が求められる。

	平成 25 年度	平成 26 年度
企業連携	36 団体	45 団体
市町コンテスト	3 市	5 市
市町イベント	5 市 1 町	5 市 4 町
家庭等食数（市町分）	304,639	288,419 (▲16,220)



※「食に関する実態調査」平成 26 年 11 月

今年度においては，昨年度の反省点を踏まえ，「ひろしま食育ウィーク」期間に偏ることなく，年間を通じて活動を展開できたため，市町における取組が広がった。

来年度は，新たな課題を踏まえ，各学校において P T A と連携した活動を進めるよう指導するとともに，市町教育委員会と連携して，栄養教諭による他校への訪問指導を計画的に行い，県内全体で食育の充実が図られるよう取り組むこととする。